

阿蘇山の噴火警戒レベルを2へ引上げ

本日（23日）15時00分に阿蘇山の噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

阿蘇山では、GNSS連続観測において、2023年12月頃から深部にマグマだまりがあると考えられる草千里を挟む基線及び広域の基線に伸びの傾向が認められています。このような地殻変動がみられる中、本日（23日）実施した現地調査で、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量が2,000トンと多い状態であることを確認しました。

阿蘇山では、火山活動が高まっており、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性があることから、本日15時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

※詳細については、気象庁ホームページをご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム>火山登山者向けの情報提供ページ>火山活動の状況

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/503.html

問合せ先：福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター

電話：092-725-3606

熊本地方気象台

電話：096-324-3283

阿蘇山の位置および警戒が必要な範囲

(標高点)

火口から概ね 1 kmの警戒範囲

(令和元年8月7日現在)

